

高校教育指導課通信 VOL.8

「高校教育指導課通信」では、各学校の工夫した取組等について情報提供します。第8号は豊田高等学校です。

令和2年6月10日（水）

豊田高等学校 <http://www.toyota-h.hiroshima-c.ed.jp/>

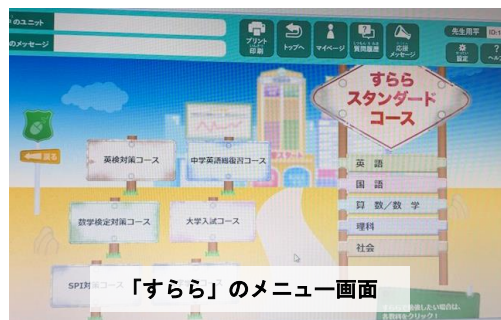
主体的な学びを促す授業づくり —「すらら」の効果的な活用を通して—

自立的な学習活動の支援

⇒生徒一人一人が個々の学習状況に応じて学習計画を立て、補完的な学習や発展的な学習ができるよう、自立学習支援プログラム「すらら」を活用しています。ネット環境があれば、自宅のパソコンでも学習が可能です。この「すらら」を活用することで、生徒の個に応じた学習をサポートしています。

担当の先生より

- ▶ 生徒は、個々の学習状況に応じて自分のペースで学習することができ、意欲的に取り組んでいます。
- ▶ 教員は、生徒の学習状況を把握し、つまづいている部分について、個別にフォローしています。



SP1対応コース 「すらら」のメニュー画面



「すらら」を活用して学習する様子



機能的な校内体制づくり

—効果的・効率的な校内研修の実施を通して—

複数の校内研修の関連付けによる研修成果の向上

⇒臨時休業中の時間を有効に活用して、複数の校内研修を集中的に関連付けて実施することで、目指す学校の姿を全教職員で共有し、校内研修の成果を効果的・効率的に生かすことを目指しました。

参加した先生より

- ▶ 専門的な内容をじっくり学ぶことができ、意欲的に取り組むことができました。
- ▶ それぞれの研修に共通する部分（例：生徒理解の重要性など）に気付くことができました。

